

## 議事録

### 会議名：第51回中四国学生剣道連盟理事会

- 日時：2015年9月5日 午後1時30分より
  - 場所：岡山大学 大学会館 1F ホール
  - 構成員：36名
  - 参加者：渡邊道徳、三浦利雅、木原資裕、榊 康守、草間益良夫、大城戸 功、村井慎治、石井博貞、境 英俊、竹内善一、宮本理幸、廣畑栄三、矢野宏光、野中慧吾、安部一希、城山太一、谷本悠樹、磯邊夏紀、菱川皓太、井内香里、寺内友章、山口真利佳、杉若剛志、金築佳佑、中原 誠、古田千佳、三浦和紗、橋本遥果  
(以下委任状により出席と見做す)、藤原崇郎、福井悦郎、河内 泉、山神眞一、香川直己、三好恒平、小松良成、以上36名、欠席者：0名  
オブザーバーとして、森 正典、宮川 健、近藤裕樹、原川琢至
- 上記の通り、全体の3分の2以上の出席があった為、本会議は適法に成立した。  
野中慧吾幹事長を議長として議事が進められた。
- 記録  
氏名：杉若剛志  
E-mail：info@chushi.xsrv.jp (不明点はこちらへ)

### 開会の辞

藤原崇郎会長が不在のため、渡邊道徳副会長が開会の辞を宣べられ、今回の優勝大会をはじめ選手権や剣友大会などにおいて、会場の確保などに各県の先輩方の並々ならぬご尽力を頂いたことに対する感謝の気持ちを表された。

また、湯村正仁前会長のご意向である「学生主体の大会運営」を実現するためにも、前日の諸会議や当日の大会進行を行うにあたり、役員の方のご協力を会長に代わりご要請された。

### Summary :

- 議題1：第50回理事会議事録確認
- 議題2：全日学連常任理事会・中四常任幹事会報告
- 議題3：規約・細則改正案
- 議題4：平成28年度予算案
- 議題5：剣友剣道大会について
- 議題6：その他
- 議題7：次期先輩理事（連盟役員を除く）改選（任期：H27.10～H30.9）

## 1. 第50回理事会議事録確認

前回理事会の議題6. 平成27年度全剣連「剣道有功賞」について、今回は有功賞の推薦について先輩方からの連絡が無かったため、全日学連には本年度の中四国からの有功賞推薦はないと報告した旨が野中幹事長より補足された。

以上の事項を含め、第50回理事会議事録が異議なく承認された。

## 2. 全日学連常任理事会・中四常任幹事会報告

報告者：野中慧吾

平成27年6月27日（土）に大阪府立体育会館にて第二回全日学連常任理事会が行われた。

### (1) 審判委員会の報告

- ・全日の審判講習会において、講師用の資料を参加者にも配布することが決定された。
- ・全日本学生剣道選手権及び優勝大会で使用される竹刀検査確認証について、以下の改訂がなされた。
  - ①「竹刀検量」については「竹刀検査」、「不正竹刀」については「規格外竹刀」という語句をそれぞれ使用する。
  - ②竹刀の長さ・重さの単位について、カタカナでの表記に統一する。

### (2) 事業委員会の報告

- ・来年度より、全日本選手権大会における中四国連盟からの女子出場選手枠が9名から10名に増枠される事が決定した（男子については変更なし）。全日本優勝大会においては現在男女とも5校とされている出場枠が、来年度より男女とも6校に増枠される予定である。後に草間益良夫先輩からご質問を頂き、こうした出場枠の増減は各地域連盟に登録されている学校数（男子のみ・女子のみの学校を含む）を考慮して複数の案を作成し、それを元に割り当てられたものであることが確認された。

### (3) 財務委員会の報告

- ・今年度の春期部員登録について、中四国連盟は903名（年度比+5名）となり、ほぼ横ばいであった。
- ・秋期部員登録日について、10月30日から20日に変更された。
- ・全日学連の特別会計1,000万円を取り崩していく旨の承認がなされた。

### (4) 総務委員会の報告

- ・不祥事の発生に関して、北海学園大学のリベンジポルノ事件、中京大学の暴力事件について説明がなされた。

## 3. 規約・細則改正案

報告者：野中慧吾・石井博貞

前回の理事会の際、不祥事が発生した場合において各校に連盟への報告を義務づけ、連盟規約にその旨を明文化することが決定した。今回はそれをを受け、規約・細則の改正案が提示され、全日学連の出した不祥事防止ガイドライン等を参考にしながら以下の細かな語句使用の議論などを経て改定が最終決議された。

- ・連盟規約第30条に記載のある不祥事の「報告」について「報告等」と改正する。同時に、第30条2項で特別委員会の規定を置く。
- ・「報告等」と規定することについては、不祥事が起きた場合、各大学が連盟に対し第一報としての速報をはじめとし、その後も継続して処分の過程などについて情報提供を続けるべきであるという主旨であることが、草間益良夫先輩や森正典先輩のご意見により考えられた。
- ・報告を必要とする不祥事がどの程度からのものであるべきかという議論がなされた。これに関して、社会的に認められない行為を全て挙げていくと切りが無く、同じ行動でも大学側が認知するかどうかで処分に不公平が生じる問題点があるという意見や、学連に対する報告であるので、報告する不祥事の度合いについては各大学剣道部の活動に支障をきたすかどうかを基準とするべきという意見などが多く出された。
- ・全日学連に対しては、中四学連は連盟規約を改定し、個々の事例についてはこの規約に従って判断・対応するという内容を報告することで意見が一致した。
- ・加えて、具体的な事例とそれに対する処分について、仮に今後不祥事が発生した時に対処し易いよう、これまで発生した事例と最終的になされた処分をまとめて参考にできるような工夫を境英俊先輩が要請された。

#### 4. 平成28年度予算案

報告者：杉若剛志

- ・平成28年度の予算案について、消費税増税による必要経費の増額と、本年度の新人戦の会場が福山市のローズアリーナであることに関連して施設の暖房を使用すると仮定したことをもとに、例年より高い予算が見積もられた。
- ・登録費については近年の部員登録傾向が4、5年単位で見ても横ばいであることを考慮して設定された。
- ・大会会場について来年度の中四国選手権の開催地が問題となっているが、愛媛県武道館の使用を現在申請中であり、使用可否の目処が立つのが10月頃である旨が森正典先輩により報告された。同時に万一武道館が取れなかった場合は、スムーズな大会運営を重視し本年度と同じように松山大学を使用すべきという意見が述べられた。

#### 5. 剣友剣道大会について

報告者：宮川 健

- ・愛媛県武道館で12月6日に行われる第17回中四国学連剣友剣道大会について、宮川健先輩より説明を頂いた。この際、大会の出場申込みについて、本年度よりホームページから必要書類をダウンロードして行う方法に変更されたことが報告された。
- ・第17回大会について、前日の12月5日は体育館が使えないため、会場設営などの事前準備を当日の午前8時より行い、試合は10時より行うこと、また選手の練習会場として5日・6日ともに二階の剣道場を使用することを森正典先輩に補足して頂いた。
- ・第18回中四国学連剣友剣道大会については、平成28年12月4日に岡山での開催が決定した。

#### 6. その他

- ・石井博貞先輩より、次回の中四国連盟が主管する平成29年12月16日、17日の全日本オープン大会について、広島グリーンアリーナでの開催が内々定を得たことが報告された。これに伴ってこの年の新人大会は11月の第3週に高松にて、香川大学主管のもと予定されていることが野中慧吾幹事長によって補足された。

## 7. 次期先輩理事改選（任期 H27. 10～H30. 9）

報告者：石井博貞

次期先輩理事が以下の通り承認された。（★・・・新任の先輩理事）

### ・ 県選出理事

|               |               |
|---------------|---------------|
| 香川県： 山神 眞一 先輩 | 高知県： 宮本 理幸 先輩 |
| 愛媛県：★曾我部敦介 先輩 | 岡山県： 廣畑 栄三 先輩 |
| 鳥取県： 竹内 善一 先輩 | 島根県： 境 英俊 先輩  |
| 山口県：★原川 琢至 先輩 | 広島県： 村井 慎治 先輩 |

徳島県については、木原資裕副会長が兼任とする。

### ・ 会長指名理事

|          |           |
|----------|-----------|
| 大城戸 功 先輩 | 石井 博貞 先輩  |
| 香川 直己 先輩 | 矢野 宏光 先輩  |
| ★宮川 健 先輩 | ★宮本 賢作 先輩 |

### ● 閉会の辞

渡邊道徳副会長より、多くの貴重な意見を出して頂いた事への謝辞と、引き続き学生のために立派な組織形成をしていきたいとお言葉を頂いた。

以上の議事を終え、本会は午後 2 時 22 分、議長が閉会を宣言して散会した。

上記決議を明確にするため議事録をここに記す。署名人はこの議事録が正しいことを以てここに記名及び押印する。

平成 27 年 9 月 5 日

中四国学生剣道連盟 第 51 回理事会

署 名 人 矢 野 宏 光

署 名 人 杉 若 剛



### ● 次回 MTG

日 時：2015年12月12日

場 所：福山市ローズアリーナ 会議室